



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

自ら学ぶ子
だれとでも仲よくする子
進んできたえる子
人とのかかわりを大切にする子

『しかってくれる人をもつことは 大きな幸福である』

さいたま市立大門小学校
校長 茂呂 宏幸

大寒も過ぎ、もうすぐ立春です。1年で最も寒い時期が過ぎることに、少しほっとしておりますが、まだまだ寒さ厳しい日が続きます。保護者、地域の皆様におかれましては、くれぐれも体調を崩されませぬようご自愛ください。

さて、今日は、経営の神様といわれる松下幸之助さんの『しかってくれる人をもつことは 大きな幸福である』という言葉についてお話しします。

私が小学校の教員になって2年目、その時の校長先生に厳しくしかられた二つの出来事を今も忘れません。

一つ目は、林間学校2日目の午後、タイトな日程の中、疲れのピークもあったのですが、次の活動場所に子どもたちの後から遅れて行ったことを強くしかられました。もちろん、先頭に立ち行動しなければならぬとわかってはいたのですが、その時は、心の中で「やることも多く、子どもたちに手がかかるのに、先に動かなんで無理だよ。引率教員の数も少ないのに。」と閉口してしまいました。

二つ目は、クラブの時間、担当していたサッカークラブで子どもがケガをした時でした。その子は、腕にケガをしていたのにもかかわらず、クラブ活動に参加し、私も「腕だから大丈夫か。」と高をくくってやらせてしまった結果、ドリブルで友達とぶつかって転び、病院に搬送されることになってしまいました。搬送後、校長室で厳しくしかられました。

しかられて、気持ちのいい人はいません。その時の私もそうでした。しかし、その後の教員生活で、同じ失敗は二度としないようにと思い、意識して行動することができました。もしその時、何も言われなかったり、「仕方ない」で済まされていたりしていたら、仕事に対する意識や姿勢も違っていたかもしれません。その時に教えていただいたことが今も財産となり、生きているような気がします。

子どもたちと話をしていると「先生にしかられた。」「お母さんにしかられた。」と、よく聞くことがあります。中には、納得がいかず、ふてくされている子どももいます。

「どうしてしかられたのかな。」と慰めながらも、校長としては、まずは素直にそのことを受け止めてほしいと願っています。しかってくれたことに感謝しなさいとは言いませんが、相手が伝えたいと思うことを考えることが(なぜ、しかったのかを考えること)自分自身の成長につながると考えるからです。

しかることはエネルギーがいります。誰だって嫌われたくないし、自分の権利や利益を侵害されず、その人のことをどうでもいいと思っているのであれば、しかったりしません。しかるためには相手のことを考え、時に嫌われる覚悟でしかるのです。しかし、最近では、SNSなど顔の見えない相手には、好き勝手なことをつぶやくことができても、自分に直接関係ないことであれば、目の前でよくないことをしている子どもにさえ、しかることが難しくなっているような気がします。『ほめること』は、とても大切なことです。子どもたちのよさをたくさんほめてあげたいと考えています。しかしその一方で、タイムリーに『しかること』もまた、時として子どもにとっては必要であると感じています。

「しかられなくなったら・・・」といいますが、しかってくれる人がいるということは、成長のチャンスなのかもしれません。私もよく、家でしかられています。(気を付けます。)

※最近学校では、コーチングの手法も取り入れ、成長を支援しています。

大門小学校の「SDGs教育」を紹介します。

本校では、今年度よりさいたま市教育委員会から3年間の研究指定を受け、「さいたまSDGs教育」について、研修を進めております。SDGsとは、『Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）』の略称で2015年に国連総会で決められ、2030年を達成年限とした『誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。』『17の目標』と『169のターゲット（具体目標）』で構成されており、本校では、特色である大門地区の歴史と豊かな環境を切口として、目標11『住み続けられるまちづくりを』目標15『陸の豊かさを守ろう』を柱に、子どもたちが主体的に課題を見つけ、解決策を考え、行動できるよう学びを進めております。今年度は、日光御成道チャレンジ強歩や、ハッピーファームを活用した野菜・草花の栽培、野鳥の森を活用した樹木診断（土曜チャレンジスクール）、地域の人との交流・インタビュー等の体験活動を通して、「どのように地域と関わっていくのか」「今、自分たちでできることは何か」といった課題等に各学年で取り組みました。コロナ禍で思うように活動できなかったところもありましたが、地域への思いなどを膨らませることができました。来年度は、さらに総合的な学習の時間や生活科の時間を中心としながら、教科横断的に広く、深く学習に取り組んでいけるよう準備を進めて参ります。

<2月の行事予定>

日	曜	主 な 行 事	日	曜	主 な 行 事
1	月	代表委員会	15	月	
2	火		16	火	
3	水	避難訓練	17	水	6年 修学旅行前健康診断
4	木		18	木	
5	金	委員会	19	金	クラブ
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月	授業参観①	22	月	1、2年、なかよし懇談会
9	火	授業参観②	23	火	天皇誕生日
10	水	授業参観③ 安全の日	24	水	6年生を送る会（5校時）
11	木	建国記念の日	25	木	3、4年懇談会
12	金	クラブ（見学）3～6年	26	金	特別日課5時間下校 6年 満開の会
13	土		27	土	
14	日		28	日	

<3月の主な予定>

4	木	6年修学旅行（～5日）
15	月	5校時一斉下校 通学班会議
16日（火）～22日（月） 通常日課④ 13:20下校		
23	火	通常日課③ 11:40下校
24	水	卒業式、お別れ式
25	水	通常日課③ 11:40下校
26	木	修了式 通常日課③ 11:40下校

◆1月の安全点検について◆

点検の結果、特に異常ありませんでした。

☆☆分散授業参観☆☆

1月に実施予定だった授業参観ですが、緊急事態宣言が解除になりましたら、2/8、9、10に実施する予定です。今後予定が変更になる場合は、安心メール等でお知らせをいたします。ご了承ください。

☆☆懇談会☆☆

2月22日から懇談会を順次行う予定ですが、緊急事態宣言の延長や、解除されても感染拡大の状況等により、変更、または、懇談会資料の配付のみになることも予想されます。緊急事態宣言が解除される予定の2月7日以降に改めてご連絡をいたします。よろしくお願いたします。

◇◇◇元気アッププロジェクト◇◇◇

学校だより7月号でお知らせした、『学校元気アッププロジェクト』ですが、全ての教職員が学校全体や学年・学級において、年間一つと学期もしくは月で一つプロジェクトを設定して取り組んでいます。コロナ禍のため、予定していた取組ができないこともありましたが、子どもたちが「学校が楽しい」「学校に行きたい」と思える活動を工夫して行っています。2月以降の各学年だより、懇談会資料等で進捗状況や子どもたちの様子をお知らせいたします。是非、ご覧ください。

☆☆お願い☆☆

- ★お金の使い方、放課後の過ごし方（交通ルール、公園でのマナー、帰宅時刻の約束等）等については学校でも繰り返し指導をしています。御家庭でも再度確認をお願いします。
- ★手洗い、うがい、消毒、マスクの着用（顔の大きさにあったもの、鼻と口をしっかりと覆う）等について御家庭でもお声がけをよろしくお願いいたします。
- ★10月～2月までの帰宅時刻は16時30分です。日は少しずつのびてきましたが、暗くなる前に家に帰るようにしましょう。

2月5日（金）は給食費等の口座引落日です。2、3月分の引落ととなります。残高確認をお願いいたします。



◆暗唱検定実施中!!◆

学校全体で取り組んでいる「元気アッププロジェクト」の一つが暗唱です。合格した人には2月末に達成賞を渡します。ご家庭でも取り組んでいただけますよう、引き続きよろしくお願いいたします。

心を潤す4つの言葉 ～見えない心を伝えよう～

ご家庭でも心を潤す4つの言葉「おはようございます」「ありがとう」「はい」「ごめんなさい」を伝えられるようにしましょう。